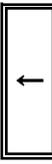


# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

## 評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東邦薬品広島センター	階数	地上4F
建設地	広島県広島市安佐南区伴西2丁目3	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2016年11月8日
敷地面積	22,793 m <sup>2</sup>	作成者	岡里潤
建築面積	12,206 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	31,700 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外の	83%
④上記+	83%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 2.6**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	3.0
温熱環境	2.1
光・視環境	3.1
空気質環境	2.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.4
耐用性	3.6
対応性	3.5

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.5**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.3

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.6
地域環境	3.6
周辺環境	3.0

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.2		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.6</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>断熱性能の高い外装材の採用 / 高効率型機器、排熱回収型機器の採用 / 高効率運転のため自動間欠運転システムを採用 / ・躯体と仕上材が容易に分離可能なものとする。</p> <p>・内装材等にリサイクル材を使用する。 / 高効率運転による運用時CO<sub>2</sub>削減</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.8</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>/ 敷地内及び周辺地に駐車場スペースを確保するとともに、</p> <p>出入口を2カ所設ける計画としている。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.3</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>建築基準法の1.25倍の耐震性能を確保するとともに、設備更新時にも極力構造体を痛めることなく更新可能な計画としている。 / 設備シャフト、スペースを確保している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される